

# サクラソウ日記

自学ノート提出数累計  
171冊 (134人) 10/31 現在

(自分に自信と夢を～いまをだいじに、なかまとともに、一歩前進をめざして) 校長 宮脇真一

## 「なかま」の存在

～第47回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会～

25日(土)第47回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会が大津北中学校で行われました。本校からも4年生以上の児童と先生たちが多数参加し、他校の児童・生徒とともに、たくさんの意見交換をしました。思いを語り合う中で、相手のことを知ること、そのためには「どうしたの」や「話をきくよ」の一言から始まる対話が互いを知るための一歩目になることなど、「なかま」の存在の心強さを共有することができました。また、こどもたちの発言の中には、「差別をなくすことは自分のことを考えること」「隣保館での学びを毎日の生活の中でつないでいくことが大事」とのことばも聞かれました。「なかま」とともに、自分自身の足下から見直していく、そんな貴重な時間を過ごすことができた集会でした。



## 「学びをつかう」

～校内での研究授業を行いました～

昨年度から2年間、本校は大津町教育委員会からの研究指定をいただいております。年明けの1月31日(金)にその成果発表会を行います。

発表の「キモ」は「学びを使う」こと。昨今の教育情勢から、今の小学生世代が大人になる頃必要とされる資質・能力として知識の量を問う「貯金型」の学びだけでなく、自分も持っている力をいかに発揮するかという「投資型」の学びが求められています。本校ではこれまでの教育実践である「生活数理」を発展的に



1年生の授業から

継承し、「学びを使う」ことを意図した実践に取り組んでいます。今週は1、3、6年生で国語と算数の授業を公開し、様々な視座から研究会を行いました。こどもたちの意見の受け止めと反応、それをコーディネートする先生たちの問い返しも次第に鋭くなっています。

12月はじめには節目の評価として「熊本県学力・学習状況調査」も予定されています。日々の学びの成果を確認する貴重な機会的成果を発揮できることを目指します。